

吹田市北千里小学校跡地 複合施設ワークショップ通信 No. 3

■お問合せ先 : 吹田市教育委員会地域教育部まなびの支援課 TEL:06-6155-8257

■吹田市北千里小学校跡地複合施設ワークショップについて

吹田市北千里小学校跡地複合施設について、市民の皆さまから広く提案やご意見をいただき、基本計画の検討に反映していくためのワークショップを開催しています。

ワークショップは全6回を予定しており、複合施設でやりたいことや施設の機能、利用の仕方等について、グループワークによる意見交換を行います。



■第3回ワークショップ

8月4日に行われた第3回ワークショップでは、はじめにWSのねらいを確認し、これまでのWSの内容をまとめた瓦版を読みながら前回は振り返りました。ワーキングでは「本と情報のスペースでやりたいこと」というテーマで活発な意見交換を行いました。

プログラム

日時：令和元年8月4日（日）10:00～12:00

会場：北千里地区公民館

参加者数：27名

開会

あいさつ

前回WSの報告等

ワーキング～本と情報のスペースでやりたいこと～

まとめ

閉会



ワークショップ会場の様子



ワーキングで頂いたご意見

■今後の予定

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 6月 9日（日）第1回 | 複合施設でやりたいこと【終了】 |
| 7月 6日（土）第2回 | 複合施設のナカとソトでやりたいこと【終了】 |
| 8月 4日（日）第3回 | 本と情報のスペースでやりたいこと【終了】 |
| 8月 31日（土）第4回 | 子どもと親のスペースでやりたいこと 10:00～ |
| 9月 29日（日）第5回 | 市民活動スペースでやりたいこと 10:00～ |
| 10月 19日（土）第6回 | ワークショップのまとめ 10:00～ |

令和元年8月4日

■ワークショップでの主なご意見

「本と情報のスペースでやりたいこと」というテーマで、本と情報のスペースでやりたいことを付箋にして意見交換を行いました。

■本と情報のスペースのテーマについてのご意見

吹田市内の図書館では、それぞれ図書館ごとに蔵書のテーマを持っております。ワーキングに入る前に吹田市図書館から、それぞれの図書館のテーマについて、図書館で行っている活動や取り組みについて説明がありました。

参加者の皆様からは、★子育ての拠点になるような本・こどもの絵本を充実させて欲しい、★歴史・文化をテーマとし、地域の歴史継承を図るような本をおいてほしい、★健康・自然をテーマとした本を置いてほしい等**具体的な蔵書に関するご意見**がありました。

また、★全世代生涯学習ができる、★待ち合わせができる居心地の良い雰囲気づくり等、**本と情報のスペースのコンセプトについてのご意見**を頂きました。参加者の皆様からは、北千里らしいスタイルの図書館の提案が望まれました。

■本と情報のスペースのゾーニング他についてのご意見

図書館のゾーニング他については、★夜間も使える自習スペースが欲しい、★おしゃべりできる学習スペースやフリースペースが欲しい、★AV機器を利用可能なスペースが欲しい、★飲食可能にしてほしい等**具体的なスペースに関するご意見**がありました。

また、★賑わいのある図書館としてほしいが、勉強する人もいるので集中できる静かなスペースとにぎやかなスペースを分けてほしい、★回遊型の本と情報のスペースだと子どもが走りまわる可能性があるので検討が必要、★わんぱく広場での安全性を考えると中庭とすることも考えられる等、**ゾーニングについてのご意見**も頂きました。

■ふりかえりシートについて

ふりかえりシートではワークショップに参加して頂いた皆様からたくさんのご意見を頂きました。

参加者の皆様からは、★ワークショップのことを知らない人がいるのでもう少し告知をしたほうが良い、★もう少しワーキングの時間が欲しい等ワークショップに関するご意見を頂きました。

また、★回遊性のある平面構成はとても魅力的、★最終的なまとめの案は平面だけでなく、CGもあればわかりやすいというご意見もいただきました。

今回は本と情報のスペースについて参加者の皆様からご意見を頂きました。参加者の皆様からは、複合施設はオープンで誰もが親しめ、生涯学習ができる居心地の良い場であることが期待されました。新たな複合施設は主な利用者である市民の皆様の声を反映させることが重要です。参加者の皆様の豊富で多彩な知が終結する複合施設のイメージが膨らむWSでした。次回ワークショップでは子どもと親のスペースでやりたいことというテーマで、具体的なスペースについて話し合う予定です。